

当日は、紺色のポロシャツを極力着用してください。

9 運営役員業務要領

(1) 大会本部

陸上競技協会役員と連携を図り、大会運営全般の連絡調整を行う。

大会運営に必要な物品、特に競技役員総務から指示された物品の管理等を行う。

(2) 記録本部

大会の記録処理業務を行い、速報・成績表・その他連絡事項を大会本部及びR A Bへ連絡する。また、繰上げスタート予定時刻の連絡を受け、大会本部へ連絡する。

- ① 区間棄権チームが出た場合も掲示速報する。
- ② 中継所通過上位のチーム名及び記録を速報する。
- ③ 記録処理係は記録本部内に位置し、県陸上競技協会係員と連携を密にし、円滑な記録処理業務に当たる。

(3) 式典・表彰

総務と連絡をとり、別に定める式典要領により開会式、表彰式の準備と運営をする。

(4) 中継所運営

リーダーは午前8時までに新陸上競技場へ集合し、中継所主任と打ち合わせを行い、大会本部から携帯電話を受け取る。(電源を入れたままにしておく)

その他の役員は、集合時間(P ____ ~ ____)「各中継所の概要」参照)までに中継所に向かい、中継所競技役員と協力し合い、安全かつ円滑な大会運営に努める。

ア 役員・補助員全員で業務内容等を確認する。

イ 中継所主任(または副主任)と一緒に中継所の所有者等に挨拶をする。

ウ 補助員の協力のもとテントを設営する。

エ 荷物輸送車(トラック)で運ばれた競技用物品等を確認し(P __ 「用器具一覧」参照)、適所に配備する。

オ 配達された弁当を関係者に配布する。(※食中毒を避けるため、直射日光の当たる場所には置かず、できるだけ早い時間帯に食べるよう周知徹底する。)

カ 熱中症指標計を用いて、中継所(スタート、フィニッシュ含む)の気温及び湿度を測定し、選手に周知するとともに、記録用紙(別添)に時刻と気温等を記入し、大会本部へ報告する。

キ 選手輸送バスの添乗員から、スタートリスト(選手名簿)を受け取ったら、中継所主任に渡す。

ク 選手輸送バス待機場所、荷物輸送車及び衣類輸送車の停車場所等をあらかじめ中継所主任に確認しておき、安全誘導する。また、市町村等の応援車両は中継所周辺に一切駐車させない

- ケ 中継所を選手が通過する際には、審判員に協力して観客等の整理を手伝う。
- コ その他中継所において何か問題が生じた場合、携帯電話を利用して大会本部まで連絡する。
- サ 競技終了後、選手輸送バスに選手を誘導し、バス添乗係が人員を確認したうえで出発させる。その際、選手の忘れ物と思われる物は、全て輸送バスに積み込む。
- シ 大会本部より中継所閉鎖の許可を得た後、周辺の後始末、清掃を指示する。
- ・ 燃えるごみは青色のビニール袋に、燃えないゴミは透明のビニール袋に分けておき、用器具の回収時にトラックに積み込む。
 - ・ 用器具類は1ヶ所にまとめておく。
 - ・ テントは業者が回収するので、解体した後、ひとまとめにしておく。
- ス 中継所主任の立ち会いのもと、中継所周辺の最終点検をした後、中継所所有者等へ挨拶をする。
- セ 携帯電話を新陸上競技場の大会本部へ持参する。(移動中は携帯電話の電源を切らない。)

(5) 輸送・交通対策

① 選手等輸送係

新陸上競技場内の選手招集所で、第1次点呼を終えた選手等を輸送バスに乗車させ、出発を指示する。

ア 選手等輸送バス(9時00分到着予定)を補助競技場横の駐車場に(P____「新陸上競技場周辺図」参照)に誘導し待機させる。

(1号車～9号車の順になるよう誘導する)

イ 第1次点呼を終えた選手等を移動させ、所定のバスに乗車させる。

(各号車：選手(40名)・救護員1～2名・輸送バス添乗係1名)

ウ 輸送バス添乗係と協力し合い、「選手等輸送バス運行計画」の時間にバスを出発させる。

エ 選手等輸送バスの待機場所付近には、その他の車両を駐車させず、安全かつ円滑に移動できるよう十分配慮する。

② 輸送バス添乗係(スポーツボランティア9名)

選手等輸送バスに添乗して各中継所へ向かい、選手等への諸連絡等を行う。

ア 大会本部に集合し、選手輸送バスの「号車表示板」を受け取り、出発20分前には担当する選手等輸送バスの乗車口前で待機し、乗車を確認する。

その際、スタートリスト(選手名簿)2部、弁当3～4個(バス運転手、添乗係、救護係分)を持つこと。

イ スタートリスト(選手名簿)を選手等輸送係から受け取り、選手等が全員乗車したかを確認する。

選手がそろった段階で選手等輸送係へ伝え、出発の指示を待つ。

- ウ 選手等輸送バスでの移動中、選手に下記事項を連絡する。
- ・ 選手等輸送バスは、選手を中継所に降ろした後、その場に待機し、前区間の走者を乗せることとなるので、各自の荷物等は持って降りること。
 - ・ 中継所において第2次点呼時に預けた荷物は、衣類輸送車により次の中継所に運ばれる。(衣類輸送できなかった荷物は、前区間の走者に預ける。)
 - ・ 帰りのバスに乗車しない場合、失格となることがある。ただし、あらかじめ大会本部に届けて承認された者を除く。
- エ 走り始める中継所に到着したら選手と救護係(看護師)を下車させる。
(救護係には弁当を忘れずに渡すこと。)
- オ 各中継所の運営役員リーダー(P__・__「中継所競技役員」参照)にスタートリスト(1部)を渡す。
- カ 選手を降車させた後、中継所役員の指示に従って、指定の場所にバスを駐車させて待機する。
- キ 選手全員が中継所に到着した後、輸送バスに乗車させ、人員を確認のうえ救護係(看護師)とともに新陸上競技場へ向かう。
帰りの出発時間は、最終選手が到着してから約15分後なので、中継所役員と連携して出発する。また、中継所に残った選手の忘れ物も積み込む。
選手の救護のため、救護係(看護師)が予定の時間にバスに乗車できない場合、中継所主任の指示に従うこと。この場合、大会本部へ状況報告すること。
- ク 選手をマエダアリーナ駐車場で降車させ、添乗係が新陸上競技場まで誘導する。
バス降車時は忘れ物の有無を確認する。(忘れ物がある場合、大会本部まで運ぶ。)
- ケ 選手輸送バスの「号車表示板」を回収し、大会本部に届ける。
- コ 任務を終了した旨を大会本部に報告する。

③ 衣類輸送係

衣類輸送車に乗り、各中継所の選手の第2次点呼の際に預けられた荷物を次の中継所まで運ぶ。

1号車は、アスパム前で待機、第1中継所(三内稲元)までと第8中継所(諏訪沢)からフィニッシュ(新陸上競技場)までを担当する。

2号車は、第2中継所(三内丸山)で待機し、第4中継所(高田)までを担当する。

3号車は、第5中継所(新町野)で待機し、第7中継所(桑原)までを担当する。

(6) 医療救護

医師を乗せた医務車に添乗し、救護要領により救急医療に当たる。

指定された時間・場所に待機し、主に走行する選手の最後尾に付く。

医務1号車・2号車は、国道走行時、一般車の進入をふせぐため、全体最後尾の後押えパトカーと3台で3車線をカバーする。(国道は3車線あり、パトカー1台ではカバーできない可能性があるため)